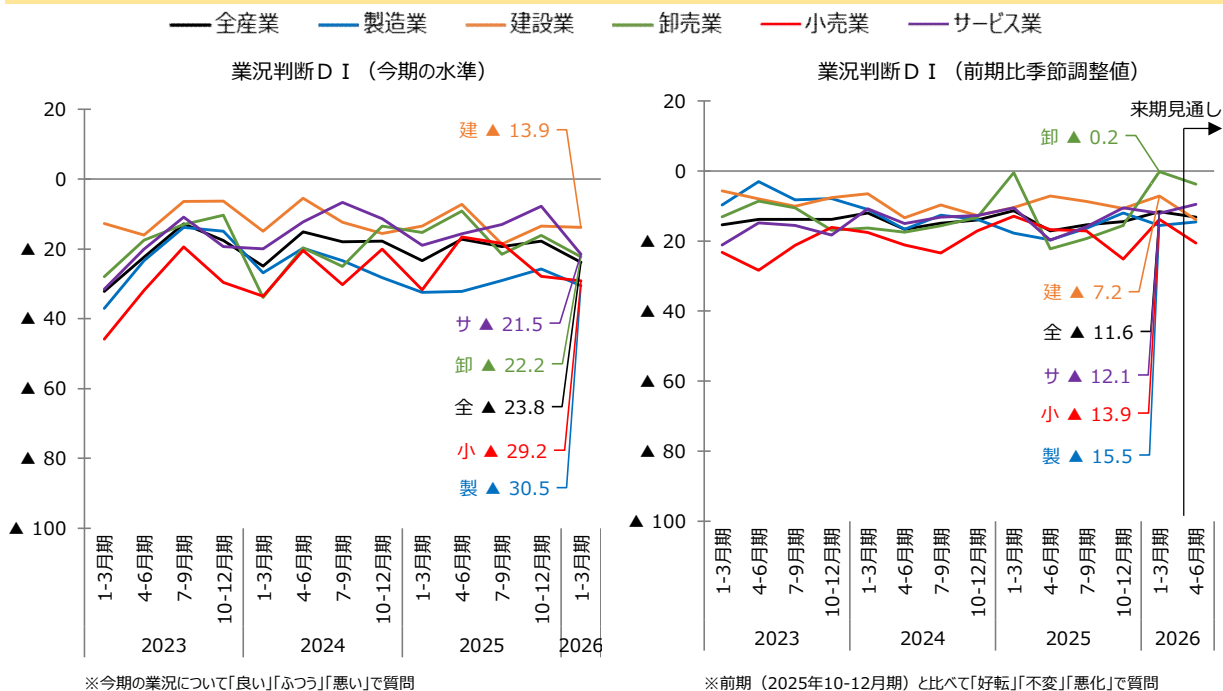


# 第183回 中小企業景況調査（2026年1-3月期） 北海道



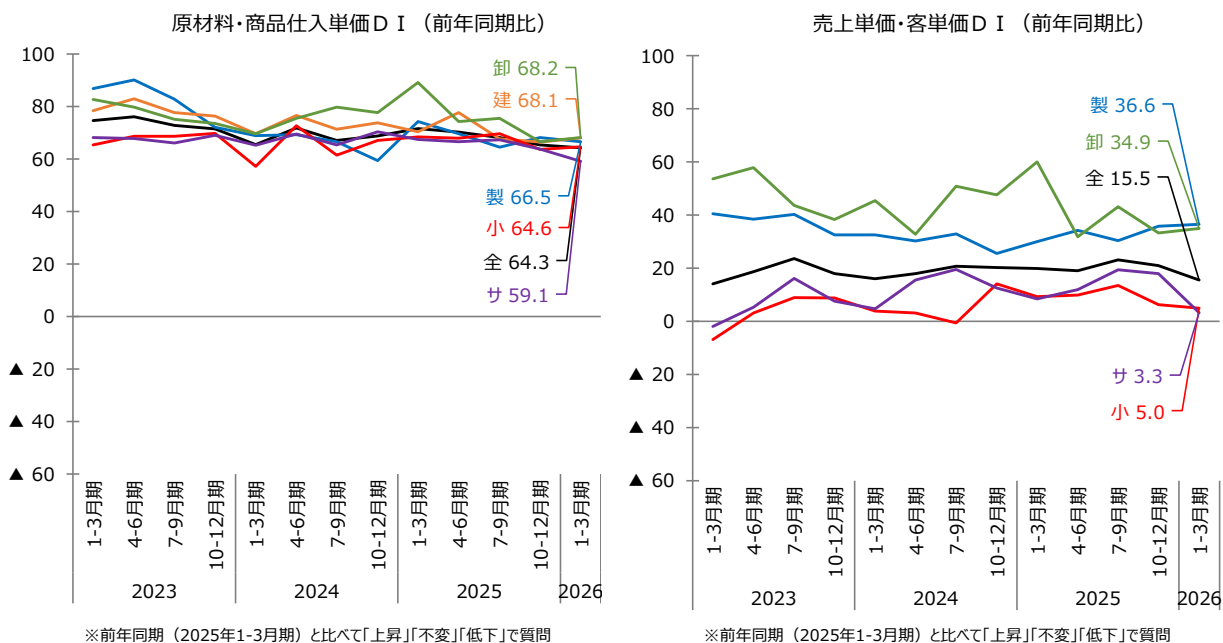
## 1. 業況感

北海道地域の中小企業の業況判断DI（今期の水準）は、全産業で前期（2025年10-12月期）より6.1ポイント減の▲23.8と2期ぶりに低下した。産業別にみると、すべての産業で低下した。



## 2. 仕入単価・販売単価

原材料・商品仕入単価DIは、全産業で前期より1.1ポイント減の64.3と4期連続して低下した。産業別にみると、建設業、卸売業、小売業で上昇し、サービス業、製造業で低下した。また、売上単価・客単価DIは、全産業で前期より5.4ポイント減の15.5と2期連続して低下した。産業別にみると、卸売業、製造業で上昇し、サービス業、小売業で低下した。



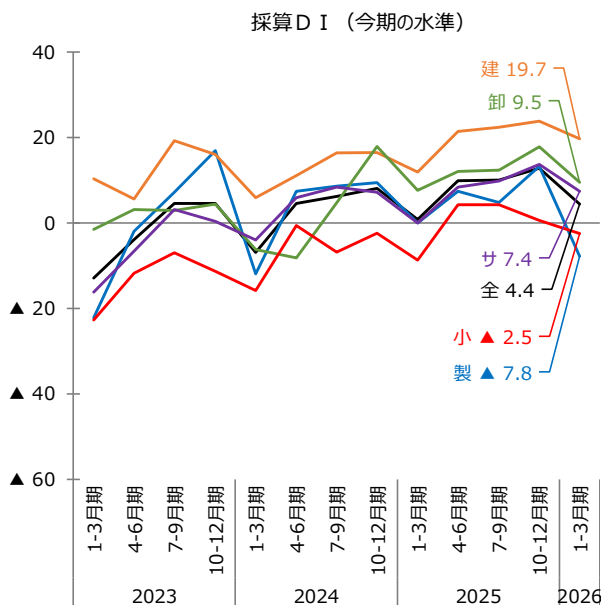
<調査概要> 調査時点は2026年3月1日、調査対象は中小企業基本法に定義する全国の中小企業

今期の調査対象企業数：18,825 有効回答企業数：17,895 有効回答率：95.1% うち、北海道：706企業

※本資料の集計対象の都道府県は、北海道です。

## 3. 採算

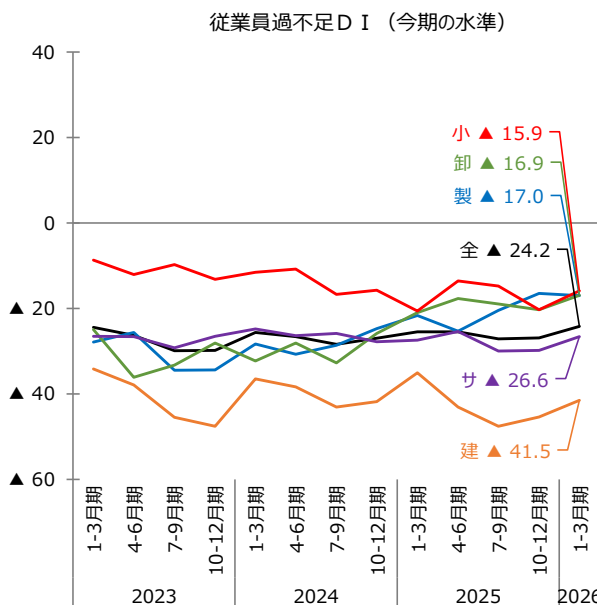
採算DIは、全産業で前期より8.4ポイント減の4.4と4期ぶりに低下した。産業別にみると、すべての産業で低下した。



※今期の採算について「黒字」「収支トントン」「赤字」で質問

## 4. 従業員過不足

従業員過不足DIは、全産業で2.7ポイント増の▲24.2で2期連続して上昇した。産業別にみると、小売業、建設業、卸売業、サービス業で上昇し、製造業で低下した。



※今期の従業員について「過剰」「適正」「不足」で質問

## 5. 北海道の中小企業の声

業況判断の背景		業種
現 状	羅臼港の鮮魚の水揚げが極端に少なくなり、鮮魚処理の売上が激減している。春期の漁が不安である。	製造業 その他の水産 食品製造業
	仕事はあるが人員不足である。外注に出すことが増えてきている。粗利では減収している。	建設業 電気通信工事業 (有線テレビジョン 放送設備設置工 事業を除く)
	天候の影響で工場の収益が悪化、雪の影響で貨物が遅延、借入金利上昇で人件費の増加等、中小企業にとって、何も良いことはありません。収益悪化により、派遣スタッフなどの人員整理をした。収益の厳しさは続くと思われる。	卸売業 その他の食料・ 飲料卸売業
	例年2月は需要停滞期で、インパウンドの客は時折り来店するものの、地元の顧客は物価高から、食料品以外の物は買い控えている。あまりにも来店客が少ないので、時短営業で経費を節減している。	小売業 かばん・袋物小 売業
	仕入価格は上昇しているが、販売価格に転嫁できない。取引先（病院等）が経営難に陥っており、そのしわ寄せで受注が減少している。	サービス業 情報処理サー ビス業
見 通 し	人員の確保が現在はできており、営業、催事出展、イベント出展等が活発に行えるため大幅な売上増が見込める。	製造業 乳製品製造業 (処理牛乳、 乳飲料を除く)
	建設資材の高騰により、新築工事が減少傾向にあり、リフォーム工事に転換しているように思う。令和8年度は、まだ不透明で予想できない。	建設業 左官工事業
	人口減少や気候変動など、経営の先行きが不透明である。	卸売業 その他の産業 機械器具卸売 業
	3月から米の仕入値が下がる動きの中での物価高対策のお米券の配布があり、当然のことながら消費拡大に期待していたが、地元では近隣市町村と比較し額面が低いいため思った以上の効果を得られないと予想している。	小売業 食品スーパー マーケット
	地域通貨の導入により利用客が増加し、売上は好調に推移している。今後、利用減や制度打ち切り等が生じた場合には売上が急減する可能性があり、制度依存による反動リスクが懸念される。	サービス業 バー、キャバ レー、ナイトク ラブ

※中小企業景況調査の自由回答(フリーコメント)